

ひらサポレター

3

ひらサポ since2023

発行日：令和5年11月10日

HP：https://www.pen-kanagawa.ed.jp/hiratsuka-sh/

MAIL：hiratsuka-sh@pen-kanagawa.ed.jp

ひらサポの活動の様子をお知らせします。

学校で、 語ろう

令和5年「学校で、語ろう」4回目は10月10日（火）、今回は試食会付きの開催でした。テーマは「摂食機能の発達と変化」とし、スピーカーは、平塚支援学校支援班のST（言語聴覚士）新井と、栄養士の大沼が務めました。

STからは、一般的な摂食機能の発達の様子や、適切な形態の食事をとることの大切さをお話しました。合わない形態の食事をとり続けることで、「あまりかまずに飲み込む」「必要以上に速く食べる」のような危険な食べ方が習慣になる可能性があることや、お子さんの食べ方を見るときのポイント、もしも独特な習慣がついていると感じたときには、どんなアプローチが考えられるかなども話題にあげました。参加された皆さんからは、自分のお子さんの食事について改めて振り返るとともに、今感じている課題について、これからどうしていくか、考えるきっかけにもなったようです。

栄養士からは、給食の献立を考えるときに大切にしていることをお話しました。現在、平塚支援の給食は和食を多く取り入れています。和食を取り入れる理由として「①多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重 ②健康な食生活を支える栄養バランス ③





自然の美しさや季節の移ろいの表現 ④正月などの年中行事との密接な関り」の4点を中心に説明し、さらに平塚支援学校の配慮食や、最新のゲル化剤についてもお話ししました。

平塚支援の配慮食は3種類あり、多様な児童生徒の実態に合わせて、よりおいしく、安全な給食をめざして現在も改良を重ねています。今回の試食会では、常食の他、配慮食も試食していただきました。ご家庭では、献立ごとにミキサーをかけるのがなかなか難しいということもあり、集団に向けて調理する学校給食の良い面を見ていただくことができました。「学校で、語ろう」今後の予定は以下の通りです。

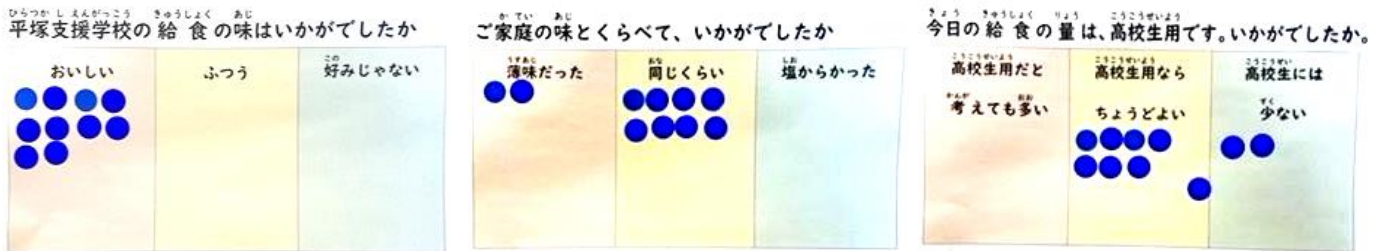
11月21日（火）「学校の理学療法士の仕事」（参加応募締切り済）

また、今年度内に校長をスピーカーに迎えた年度のまとめの会を予定しています。



			
常食	後期食 歯ぐきでつぶせる硬さのもの	中期食 舌で押しつぶせる柔らかさで、まとまりのあるもの	初期食 粒がない、ドロドロの状態のもの

↓最後にアンケートにご協力いただきました。確かに運動部でしっかり動いている高校生には量が少ないかもしれません↓



ひらサポ ワークショップ 工房

工房の企画は通年で募集しています。児童生徒が参加できる企画だけではなく、「学校に必要そうなものを提案して作りたい」「保護者や地域住民で集まって交流したい」など、ひらサポメンバー同士、大人だけの交流を目的とした企画も応募可能です。ぜひ、興味のあるところから、平塚支援学校での活動に参画されてはいかがでしょうか。現在進行中の企画は下記の表をご覧ください。

企画	応募日	実施日	11月現在の状況
ヘアカット	8月3日	12月26日(火)	参加者と協力者の募集終了
ミキサー食についての座談会	8月30日	1月16日(火) 午前	学校へ提案し、詳細を検討中

学校 サポーター

学校に児童生徒がいる時間帯に、活動のお手伝いをしてくれるボランティアを募集しています。条件は以下の2点です。

- ①高校生以下は不可
- ②ボランティア保険に加入されていること

現在登録されている方は7名です。肢体不自由教育/A部門の車いすの操作や、授業中の物の移動、児童生徒との交流(お話)などをお願いしています。実際に活動に参加していただくときには、各学部からの希望をもとに調整します。そのつど、担当者が活動内容や時間をお知らせし、参加できるかどうかの返答をサポーターの方からいただいて、活動とサポーターとをマッチングさせていただきます。活動時間帯など、希望をうかがいながらの調整も可能です。活動に興味がある方は、ボランティア活動担当(☎:0463-58-2487)までご連絡ください。